

# 【正誤表】

書名: 『よくわかる 機械数学』 江口弘文 著

刷数: 第1版1刷

ページ	箇所	誤	正
9	(1.21)式	$\frac{c+id}{a+ib} = \frac{c+id}{a+ib} \cdot \frac{a-ib}{a-ib}$ $= \frac{(ac+bd)}{a^2+b^2} + i \frac{ad-bc}{a^2+b^2}$	$\frac{c+id}{a+ib} = \frac{c+id}{a+ib} \cdot \frac{a-ib}{a-ib}$ $= \frac{ac+bd}{a^2+b^2} + i \frac{ad-bc}{a^2+b^2}$
12	6行目	これは(1.7)式で $b$ が複素数の場合ですが	これは(1.7)式で $b$ が虚数の場合ですが
17	下から 9行目	2次方程式の解は $y=0$ の場合	2次方程式の解は $f(x)=0$ の場合
32	下から 4行目	三角関数の公式でもっとも有名なものは	(1.59)式の定義から $\tan\theta = \frac{\sin\theta}{\cos\theta}$ 三角関数の公式でもっとも有名なものは
33	上から 2行目	$a^2 + b^2 = c^2$	$a^2 + b^2 = c^2$ $1 + \tan^2\theta = \sec^2\theta$
33	下から 5行目	$\cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta$ 加法定理で $\beta=\alpha$ と置けば倍角の公式が得られます。	$\cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta$ $\tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha \cdot \tan\beta}$ $\tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha \cdot \tan\beta}$ 加法定理で $\beta=\alpha$ と置けば倍角の公式が得られます。
48	下から 4行目	$dx$ の意味は次節の説明で分かります。	$dx$ の意味は以下の説明で分かります。
59	例題 2.36	マクローリン展開	マクローリン級数展開
161	11行目	この章を	この付録を